

三鷹市でクラフトビール醸造所オープン
東京を中心に活躍する久慈出身の実業家

夢をカタチに

東京都三鷹市でクラフトビール醸造所をオープンさせた、久慈出身の小笠原恵助さん。クラフトビールを造り始めたきっかけやクラフトビールの魅力について聞きました。

■これまでの軌跡

久慈で生まれ育ち、久慈商業高校を卒業後、東京に移住しました。仕事は内装業やデザイン事務所などいろいろと経験し、現在はビアバーやカフェを3店舗プロデュースしています。

■クラフトビールを造り始めたきっかけは？

日本のクラフトビールを飲んだときに、今まで飲んだことのないもので、興味と疑問をもったことがきっかけです。

■クラフトビールの魅力は？

ワインやウイスキーなどもたくさん種類があります。うまく表現できませんが、それらのお酒は狭いところを探る味の違いです。クラフトビールは、種類によってまったく違う味なので、そこが魅力です。

■クラフトビールの醸造

クラフトビールは約1カ月くらいで醸造されます。3年程前からプラントを借りて、クラフトビールを自分で作っていました。いままで60種類くらいは造ったと思います。10月から会社の醸造所が本格的に稼働。定番の種類を3種、期間限定で変わるものを2種くらいは、安定的に醸造できるようになりました。

■久慈ではどこで飲めるの？

久慈の飲食店では「BON-BON」「赤い靴」、酒店では(有)まるみ屋で飲むことができます。

■久慈の皆さんへ

久慈の皆さんには夢をカタチにするため、年齢や性別関係なくチャレンジしてほしいです。私のチャレンジが、夢をカタチにするヒントの一つになればうれしいです。



Name
小笠原 恵助 さん
おがさわら・けいすけ(田屋町・43歳)

Profile
OGA BREWING COMPANY【オージー・オール・イン・カンパニー】
ゼネラルマネージャー

住所：東京都三鷹市下連雀4-1-16
☎ 0422-29-8210

市民

センター だより

☎小久慈市民
センター
☎ 59-3051

小久慈地区ふるさと未来づくり事業 小久慈朝市

朝市でつながる小久慈の宝

7月から始まった月1回の小久慈朝市。小久慈の農家の新鮮野菜や新米、手作り団子の販売、地域企業の出店協力を受け、小久慈の宝を伝える朝市となっています。

町民ボランティアが朝市を運営しているので、雨降りでも、わざわざタクシーで来店する人やねぎらいの声をかけてくださる人もいます。

ふるさと未来づくり事業から「小久慈焼チーム」「カフェチーム」も出店を始め、チーム活動の相乗効果が発揮され、ますます盛り上がりを見せ、出店者より早く来場する人も現れて、9時には品薄となるほどです。

今年度の最終回は、11月11日(日)8時スタートです。



カフェチームも初出店

10月は天候に恵まれ400人が来場

My life in Kuji

メーガン・ジョーンズ さん

オハイオ州・26歳 / 久慈小、長内小、平山小、侍浜小、宇部小、大川目中、侍浜中、三崎中



American Ghosts of Winter

「ウェンディゴ」という怪物を聞いたことはあるでしょうか？ 雪男という怪物は？ 10月のハロウィーンが終わって11月。冬が近づいてきましたね。今回はハロウィーンでおなじみの吸血鬼や狼男とは違った、アメリカの冬の怪物を紹介したいと思います。

ウェンディゴの話は、ネイティブアメリカンの伝説で、貪欲で大食いな怪物として世代から世代へと伝わってきました。ウェンディゴは賢い怪物なので、やせた病気の鹿の姿で人を狩って食べてしまいます。ウェンディゴは人にとりつくこともでき、その人は人を食べる怪物になってしまいます。

雪男は吹雪の中で獲物を探す怪物です。元々はヒマラヤの伝説ですが、アメリカでは冬の怪物の話として大人気です。雪男の大きな体ともものすごい力は多くの人に怖がられています。吹雪に迷ったら雪男に出会うかもしれないので注意が必要です。

アメリカの冬の怪物の紹介はこれで終わりですが、日本にも冬の怪物や妖怪の話はありますか？

協力隊 つうしん

藤織 ジュン さん
木村 圭次 さん
渡邊 晋也 さん
田端 涼輔 さん

産業まつりに出店しました

10月13、14日に開催された久慈地方産業まつりに、地域おこし協力隊全員で協力し、協力隊ブースを作り出店しました。ブースでは、各隊員の活動内容が一目でわかる紹介のパネルを展示。木村、渡邊両隊員は侍浜・夏井地区で採れたダイコン、ホウレンソウ、シイタケなどの新鮮野菜を販売しました。藤織隊員は協力隊ブースの他にも、自身の会社「プロダクション未知カンパニー」のブースでオリジナルグッズなどを販売。田端隊員は、来年度オープン予定のカフェのメニューとなるフライドオレオを調理・販売しました。来場者からは「フライドオレオは新感覚でおいしい!」「野菜も低価格でお得!」など喜びの声があがりました。

現在久慈市に所属している地域おこし協力隊は4人。全員が県外から久慈に移住し、それぞれの個性を生かし、久慈のため地域のために活動しています。



来場者でにぎわう協力隊ブース

●地域おこし協力隊…移住定住促進を目的に、都市部からの移住者に対して市が委嘱。地域おこしの支援(地域行事やイベントの応援、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PR、情報発信など)や農林水産業への従事、住民の生活支援など「地域協力活動」を行います。

集まれ! 元気の輪

三船十段記念館道場

活動日：小学生…火曜日～日曜日 17時15分～18時45分(土、日、祝日は10時～12時) 中学生…火曜日～木曜日 19時～20時30分
活動場所：三船十段記念館 ☎53-2210



乱取りでの豪快な投げ技



練習後にみんなで記念撮影

昭和33年に巽山公園の一角に「三船記念館」が設立され、青少年への柔道指導が始まって今年で60年。(平成2年に現在の場所に移転し「三船十段記念館に改称」)現在は小学生45人、中・高校生22人の合計67人で活動しています。

今年2月に開催された県スポーツ少年団柔道大会では団体優勝。6月に開催された県小学生学年別柔道大会では、田名部杜和さん、勝田莉央さん、坂下歌音さんの3人が優勝。また、マルちゃん杯全日本少年柔道大会では10年ぶりに3位に入賞。今年は4つの全国大会に出場しました。

皆さんも一緒に、柔道で心身を鍛えませんか？